

# 千葉県北西部の地震の位置と震度分布

東京大学地震研究所

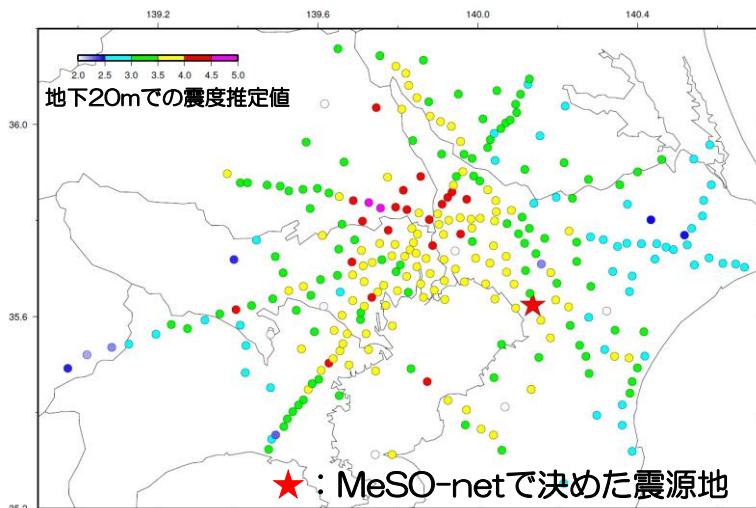


図1 2021年10月7日22時41分に発生した千葉県北西部の地震 (M5.9) の計測震度分布 (MeSO-netによる)。地震計は、地下の深さ20mに埋設されている。星印は、MeSO-netの読み取り値による震源 (1次元速度構造を使用)。震源地直上より、北西方向や西方向の震度が大きかった。

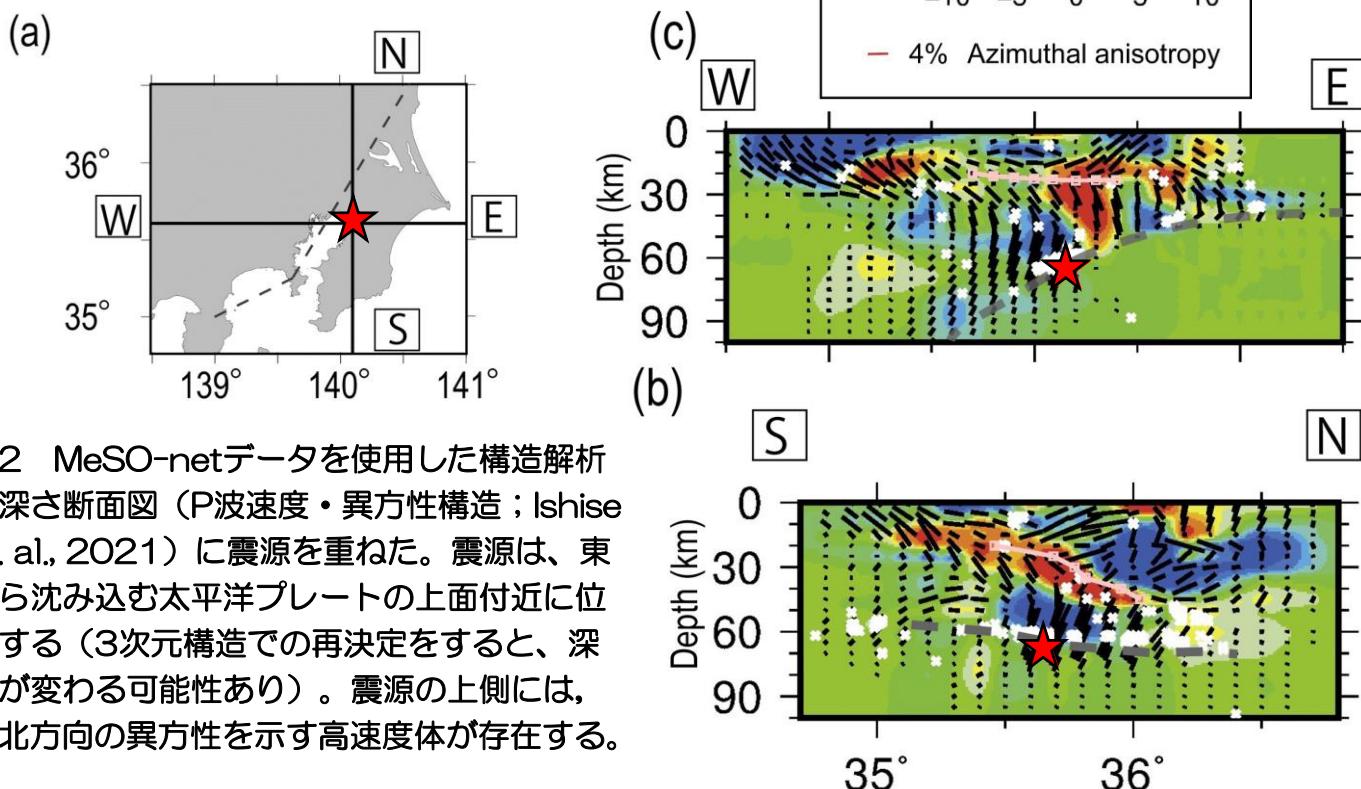


図2 MeSO-netデータを使用した構造解析の深さ断面図 (P波速度・異方性構造; Ishise et al., 2021) に震源を重ねた。震源は、東から沈み込む太平洋プレートの上層付近に位置する (3次元構造での再決定をすると、深さが変わる可能性あり)。震源の上側には、南北方向の異方性を示す高速度体が存在する。

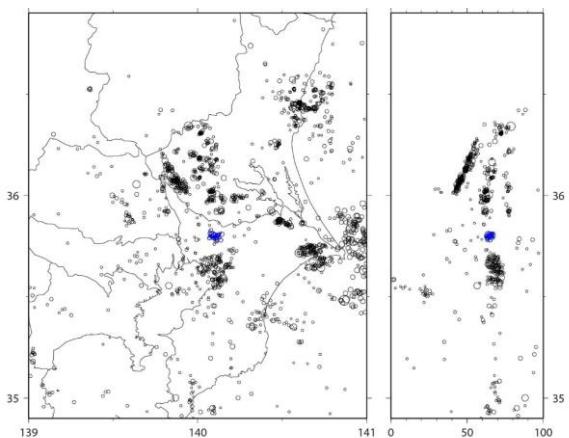


図3 今回の震源のすぐ北のクラスタで発生していた地震群のマグニチュードと震度との関係から、M6級の地震に外挿したもので、各地の震度は、ほぼ推定できていた。

マグニチュードと震度の対応 (千葉県北西部の地震)

